

第36回土木学会地震工学研究発表会(2016年)

10月17日(月)

	A会場 (大集会室1)	B会場 (大集会室2)	C会場 (第3・4会議室)	D会場 (第9会議室)
10:00-10:30	受付(大集会室前)			
10:30-12:15	A11 熊本地震 ＜橋梁と石垣の被害＞ 橋本隆雄 (千代田コンサルタント)	B11 ＜ゴム支承・衝突＞ 豊岡亮洋 (鉄道総合技術研究所)	C11 ＜地殻変動・強震動シミュレーション＞ 三神厚(東海大学)	D11 ＜地盤物性＞ 三上武子(前田建設工業)
12:15-13:30	ランチタイム			
13:30-15:15	A12 熊本地震 ＜住宅被害・災害対応＞ 古川愛子(京都大学)	B12 ＜ダンパー・振動＞ 梶田幸秀(九州大学)	C12 ＜地震動特性＞ 久世益充(岐阜大学)	D12 ＜ライフライン防災＞ 能島暢呂(岐阜大学)
15:30-17:15	A13 熊本地震 ＜地表変状・地盤災害＞ 沼田宗純(東京大学)	B13 ＜地盤・基礎構造＞ 長尾毅(神戸大学)	C13 ＜地下構造・サイト特性(1)＞ 野口竜也(鳥取大学)	D13 ＜道路防災＞ 酒井久和(法政大学)

10月18日(火)

	A会場 (大集会室1)	B会場 (大集会室2)	C会場 (第3・4会議室)	D会場 (第9会議室)
09:00-09:30	受付(大集会室前)			
09:30-10:45	A21 ＜地中管路の耐震＞ 佐藤清(大林組)	B21 ＜耐震設計・動特性＞ 庄司学(筑波大学)	C21 ＜サイト特性(2)＞ 坂井公俊 (鉄道総合技術研究所)	D21 ＜津波＞ 奥村与志弘(京都大学)
11:00-12:15	A22 ＜地中構造物の不整形地盤、液状化、断層変位による挙動＞ 坂下克之(大成建設)	B22 ＜鋼構造＞ 葛西昭(熊本大学)	C22 ＜RC構造＞ 五十嵐晃(京都大学)	D22 ＜International Session＞ 飛田哲男(関西大学)
12:15-13:30	ランチタイム			
13:30-15:15	A23 熊本地震 ＜地盤応答特性＞ 野津厚 (港湾空港技術研究所)	B23 ＜地盤と構造物の動的挙動(1)＞ 田代聡一(東亜建設工業)	C23 ＜斜面の挙動＞ 中村晋(日本大学)	D23 ＜地震後の対応技術＞ 鈴木崇伸(東洋大学)
15:30-17:15	A24 熊本地震 ＜断層と強震動＞ 後藤浩之(京都大学)	B24 ＜地盤と構造物の動的挙動(2)＞ 大矢陽介 (港湾空港技術研究所)		

(2016年9月21日版)

第36回地震工学研究発表会プログラム

A会場(大集会室1)

10月17日(月)

10:30-12:15		A11 熊本地震 <橋梁と石垣の被害>	座長:橋本隆雄(千代田コンサルタント)
講演番号		講演題目	講演者
A11-887		2016年熊本地震による橋梁被害と前震後の調査を踏まえた被害メカニズム推定	高橋良和(京都大学)
A11-897		通潤橋の地震応答特性に関する研究	伊津野和行(立命館大学)
A11-992		2016年熊本地震における地方公共団体管理橋梁の被害調査報告	梶田幸秀(九州大学)
A11-1020		2016年熊本地震で被災した大切畑大橋の被害	渡邊学歩(山口大学)
A11-1033		平成28年熊本地震の地震動強さと道路橋被災に関する検討	石井洋輔(国土技術政策総合研究所)
A11-909		2016年熊本地震における熊本城石垣の被害調査	大角恒雄(防災科学技術研究所)
A11-1045		2016年熊本地震における熊本城内の石垣被害	池本敏和(金沢大学)

13:30-15:15		A12 熊本地震 <住宅被害・災害対応>	座長:古川愛子(京都大学)
講演番号		講演題目	講演者
A12-925		赤外線カメラを用いた地震発生直後の建物被害自動検出に関する基礎的研究	松岡佑樹(金沢大学)
A12-986		2016年熊本地震による住宅の液状化被害に関する調査的研究	芹川由布子(金沢大学)
A12-1032		航空写真を用いた2016年熊本地震による益城町の建物被害進行状況の分析	小島由紀子(長岡工業高等専門学校)
A12-1050		2016年熊本地震における水槽被害および地震動特性との関連について	井上涼介(茨城大学)
A12-964		2011年東日本大震災・2015年関東・東北豪雨・2016年熊本地震の災害対応の分析に基づく災害対応業務のモデル化	沼田宗純(東京大学)
A12-972		2016年熊本地震における医療機関の被害が医療機能に及ぼす影響に関する研究	野口亮輔(金沢大学)
A12-960		2016年熊本地震における益城町での被害メカニズムの解明 ~地盤特性の影響~	山田雅行(ニュージェック)

15:30-17:15		A13 熊本地震 <地表変状・地盤災害>	座長:沼田宗純(東京大学)
講演番号		講演題目	講演者
A13-951		GEONETの地殻変動データを利用した2016年熊本地震の被害解析	神山真(東北工業大学)
A13-969		GNSS測量と空中写真測量による2016年熊本地震の地表の変状の分析	久保寺貴彦(東洋大学)
A13-1018		C-band衛星SARによる熊本地震変状解析と構造物監視に向けた検討	岩城英朗(清水建設)
A13-899		2016年熊本地震における斜面崩壊形状の調査	浜田友康(鹿島建設)
A13-1001		2016年熊本地震による御船町・宇土市の大規模盛土滑動崩壊の分析	橋本隆雄(千代田コンサルタント)
A13-1039		既往地震と熊本地震の被災事例における河川特殊堤の被災メカニズムの分析	梶尾辰史(国土技術政策総合研究所)
A13-1049		GROUND DEFORMATION BUILT UP ALONG SEISMIC FAULT ACTIVATED IN THE 2016 KUMAMOTO EARTHQUAKE	小長井一男(横浜国立大学)

10月18日(火)

9:30-10:45		A21 <地中管路の耐震>	座長:佐藤清(大林組)
講演番号		講演題目	講演者
A21-963		2016年台湾・台南地震による上水道管路の被害分析	宮島昌克(金沢大学)
A21-893		地震時における水道配水管ポリエチレン管の異形管・給水分岐の耐震性評価	西川源太郎(京都大学)
A21-983		通信用鋼管ねじ継手の強度特性に関する研究	若竹雅人(NTTアクセスサービスシステム研究所)
A21-889		振動台を用いた管軸方向地盤ばねの速度依存性に関する実験的研究	福瀬友樹(神戸大学)
A21-931		ケーブル収容管用ライニング管のケーブル防護機能に関する耐震性能評価	山崎泰司(NTTインフラネット)

11:00-12:15		A22 <地中構造物の不整形地盤、液状化、断層変位による挙動>	座長:坂下克之(大成建設)
講演番号		講演題目	講演者
A22-891		軟弱地盤を有する不整形地盤内の水道管の地震応答に関する基礎的検討	佐藤麻衣子(九州大学)
A22-956		開削トンネル工事に伴う地下水位低下による飽和度変化を考慮した液状化対策に関する研究	仲山貴司(鉄道総合技術研究所)
A22-906		逆断層変位を受ける箱型地中構造物に作用する土圧特性に関する研究	樋口俊一(大林組)
A22-926		構造物底面~岩盤間の付着特性を考慮した地中RC構造物の岩盤変位に対する損傷評価	堤内隆広(大林組)
A22-902		断層変位を受ける地中線状構造物の対策工に関する解析的検討	坂下克之(大成建設)

13:30-15:15		A23 熊本地震 <地盤応答特性>	座長:野津厚(港湾空港技術研究所)
講演番号		講演題目	講演者
A23-900		KiK-net益城における2016年熊本地震の記録に基づく表層地盤の非線形増幅特性	栗田哲史(東電設計)
A23-903		KiK-net益城サイトの非線形地盤応答特性	後藤浩之(京都大学)
A23-922		常時微動計測および臨時地震観測に基づく益城町小谷集落での地盤震動特性の評価	湊文博(大阪大学)
A23-913		2016年熊本地震による益城町の地震被害と地盤震動特性の相関に関する研究	長尾毅(神戸大学)
A23-1006		2016年熊本地震におけるKiK-net益城観測点の地震時挙動について	末富岩雄(エイト日本技術開発)
A23-974		熊本地震の益城町小谷地区における建物被害推定のための表層地盤動特性評価	土田美悠子(金沢大学)

15:30-17:15		A24 熊本地震 <断層と強震動>	座長:後藤浩之(京都大学)
講演番号		講演題目	講演者
A24-914		臨時地震観測に基づく2016年熊本地震の前震による高速道路盛土の被災地点での強震動の推定	大川雄太郎(大阪大学)
A24-915		サイト増幅特性置換手法に基づく2016年熊本地震における熊本城での強震動の評価	秦吉弥(大阪大学)
A24-1015		熊本地震によるKiK-net益城での観測地震動と事前の活断層評価に基づく推定地震動との比較	福島康宏(エイト日本技術開発)
A24-1019		2016年熊本地震の震源近傍の被害調査と震源のモデル化	池田隆明(長岡技術科学大学)
A24-1041		2016年熊本地震の本震の際に震源近傍で観測された地震動に関する2,3の考察	野津厚(港湾空港技術研究所)
A24-904		2016年熊本地震で生じた地表地震断層ごく近傍の強震動について	吉田昌平(鳥取大学)
A24-919		常時微動計測および臨時地震観測に基づく2016年熊本地震の前震・本震における御船町当中原団地での強震動の推定	山内政輝(大阪大学)

第36回地震工学研究発表会プログラム

B会場(大集会室2)

10月17日(月)

10:30-12:15		B11 <ゴム支承・衝突>	座長:豊岡亮洋(鉄道総合技術研究所)
講演番号	講演題目		講演者
B11-994	大ひずみを複数回経験したゴム支承の残存耐震性評価確認実験		成炫禹(九州大学)
B11-947	軸応力をパラメータとした積層ゴム支承のせん断特性確認実験		崔準ホ(九州大学)
B11-943	免震支承(LRB)のMullins効果とハードニング特性が耐震性に及ぼす影響		内藤伸幸(アーク情報システム)
B11-955	免震支承(LRB)の性能変動等による地震時の応答増大に関する一考察		宇野裕恵(オイス工業)
B11-973	危機耐性と経年劣化を考慮した機能分散型免震構造の一提案		党紀(埼玉大学)
B11-1017	マルチスケールモデルによる長大橋の主塔主桁間の衝突現象の再現と局部損傷の評価		武田智信(東京大学)
B11-890	変位制限構造と上部構造の衝突による橋台の損傷事例の再現解析		朝廣祐介(九州大学)

13:30-15:15		B12 <ダンパー・振動>	座長:梶田幸秀(九州大学)
講演番号	講演題目		講演者
B12-980	平成28年熊本地震に基づくダンパーの適用による送電鉄塔の耐震性に関する基礎的研究		松本将之(熊本大学)
B12-936	所要の応答塑性率を実現する摩擦型ダンパーの設計手法の提案		豊岡亮洋(鉄道総合技術研究所)
B12-939	減衰定数に着目した地震時の車両走行性に関する要注意構造物の簡易抽出法		和田一範(鉄道総合技術研究所)
B12-957	振動データから橋脚の損傷を検知する方法		鈴木崇伸(東洋大学)
B12-978	弾性振動をする壁状構造物に作用する地震時動水圧の検討		佐藤芳仁(中部電力)
B12-886	実機貯水槽を用いたバルジング振動に関する振動実験		平野廣和(中央大学)

15:30-17:15		B13 <地盤・基礎構造>	座長:長尾毅(神戸大学)
講演番号	講演題目		講演者
B13-995	地盤断層変位が直接基礎形式の鉄道ラーメン高架橋に与える影響の評価		日野篤志(鉄道総合技術研究所)
B13-962	柱状改良体の連結による橋台耐震補強工法に関する実験的検討		池本宏文(東日本旅客鉄道)
B13-961	製鋼スラグを用いたSCP改良された重力式岸壁の耐震性能評価		粟津進吾(JFEスチール)
B13-1024	ニューマチックケーソン式棧橋の照査用震度算定に関する基礎的研究		柴田大介(日本港湾コンサルタント)
B13-1007	解析モデルの違いが鋼管矢板基礎の地震時応答特性に与える影響評価		西原知彦(阪神高速道路)
B13-968	胸壁の照査用震度算出に関する骨組解析および応答スペクトル法の適用性の検討		府川裕史(東亜建設工業)

10月18日(火)

9:30-10:45		B21 <耐震設計・動特性>	座長:庄司学(筑波大学)
講演番号	講演題目		講演者
B21-908	性能設計体系における新たな耐震設計事例 -設計地震動-		末富岩雄(エイト日本技術開発)
B21-944	性能設計体系における新たな耐震設計事例 -構造設計-		今村年成(中央復建コンサルタンツ)
B21-958	水平2方向地震動の軌跡特性が構造物の2方向弾塑性応答に及ぼす影響		井上和真(大成建設)
B21-996	水平2方向入力のPhase Polarityを考慮した非対称橋梁の2方向地震応答特性		五十嵐晃(京都大学)
B21-971	東北地方太平洋沖地震の余震観測記録に基づいた鶴見つばさ橋の動特性の検証		庄司学(筑波大学)

11:00-12:15		B22 <鋼構造>	座長:葛西昭(熊本大学)
講演番号	講演題目		講演者
B22-883	繰り返し水平力を受ける鋼変断面片持ち柱の崩壊メカニズムの変動特性		酒造敏廣(神戸市立工業高等専門学校)
B22-884	SM570鋼材を適用した鋼製補剛箱形断面橋脚の繰り返し弾塑性挙動に関する解析的研究		鈴木元哉(名城大学)
B22-1026	超過外力に対する鋼管集成橋脚の地震応答特性の評価		篠原聖二(阪神高速道路)
B22-932	鋼異種主桁橋の桁連続化が耐震性能に与える影響		杉岡弘一(阪神高速道路)
B22-885	魚骨型座屈拘束ブレース(FB-BRB)の開発に関する実験的研究		猪飼豊樹(名城大学)

13:30-15:15		B23 <地盤と構造物の動的挙動(1)>	座長:田代聡一(東亜建設工業)
講演番号	講演題目		講演者
B23-938	実大規模震動実験におけるため池堤体の残留変形特性		中澤博志(防災科学技術研究所)
B23-959	人工材ドレーンを用いた液状化対策地盤の地震時変形抑制効果に関するひずみ空間多重せん断モデルによる解析的研究		田代聡一(東亜建設工業)
B23-970	丸太打設による既設戸建て住宅の液状化対策の液状化が生じた地盤での数値解析による検討		三輪滋(飛鳥建設)
B23-988	3次元動的有効応力解析を用いた格子状改良工法・排水工法による液状化対策効果評価		蔡飛(群馬大学)
B23-1002	地盤改良体方式斜め土留め壁によるカルバートの浮上抑制効果に関する解析的研究		照井太一(大林組)
B23-882	液状化で被災した住宅地の対策工法として採用された格子状地中壁工法の設計		津國正一(竹中土木)
B23-984	既設岸壁・護岸の液状化対策を対象とした低コスト工法と段階的地震対策の提案		山田岳峰(鹿島建設)

15:30-17:15		B24 <地盤と構造物の動的挙動(2)>	座長:大矢陽介(港湾空港技術研究所)
講演番号	講演題目		講演者
B24-997	確率弾塑性モデルを用いた履歴特性に対する地盤物性の不確実性の影響評価		羽場一基(大成建設)
B24-896	積雪寒冷環境の間隙水圧・空気圧挙動を考慮した盛土の地震応答解析		松丸貴樹(鉄道総合技術研究所)
B24-1029	地下構造物周辺の液状化地盤におけるせん断ひずみ履歴による体積ひずみの評価		大矢陽介(港湾空港技術研究所)
B24-1021	2次元動的有効応力解析による河川堤防の地震時沈下量の再現性向上策に関する考察		梶尾辰史(国土技術政策総合研究所)
B24-1047	水循環施設における免震・免液構造の効果の評価に関する検討		有賀義明(弘前大学)
B24-894	航空レーザー測量による東京湾岸西部の液状化沈下マップの作成と精度の検証		梶原和博(横浜国立大学)

第36回地震工学研究発表会プログラム

C会場(第3・4会議室)

10月17日(月)

10:30-12:15		C11 <地殻変動・強震動シミュレーション>	座長:三神厚(東海大学)
講演番号	講演題目		講演者
C11-895	南海トラフ地震による高知県沿岸地盤上下変動の再現		蔣景彩(徳島大学)
C11-930	東北地方太平洋沖地震による地盤沈降からの回復過程の表現		三神厚(東海大学)
C11-981	GPUクラスタを用いたモンテカルロ地殻変動想定手法の開発		山口拓真(東京大学)
C11-901	三次元地盤構造を考慮した関東地方の地震動シミュレーション		栗田哲史(東電設計株式会社)
C11-907	大規模三次元非線形動的有限要素解析による東京の地盤地震動シミュレーション		藤田航平(理化学研究所)
C11-975	離散系の半無限境界における波動の伝播有無が地震応答に及ぼす影響		川名龍太郎(東北学院大学)

13:30-15:15		C12 <地震動特性>	座長:久世益充(岐阜大学)
講演番号	講演題目		講演者
C12-923	津波避難困難時間に影響を及ぼす強震動の周波数帯域に関する基礎的検討		藤木昂(大阪大学)
C12-934	地震動記録のフーリエ振幅に見る確率特性		佐藤忠信(東南大学)
C12-952	地震動経時特性の特徴抽出と自己組織化マップによる評価		久世益充(岐阜大学)
C12-927	日本内陸における地表及び潜在断層地震の地震動特性に関する基礎的検討		吉田昌平(鳥取大学)
C12-950	2016年熊本地震 前震および本震記録の高域遮断フィルター		鶴来雅人(地域地盤環境研究所)

15:30-17:15		C13 <地下構造・サイト特性(1)>	座長:野口竜也(鳥取大学)
講演番号	講演題目		講演者
C13-924	鳥取県鹿野地域における地盤構造および地盤地震動特性		野口竜也(鳥取大学)
C13-999	常時微動を用いた不整形地盤上の地盤ひずみ分布評価の試み		黒田泰介(神戸大学)
C13-945	カトマンズ盆地の動的なコーン貫入抵抗と常時微動に関する一調査報告		荒木功平(山梨大学)
C13-911	クリギング法等を用いた中部・西部日本のサイト増幅特性の簡易評価法に関する研究		福田健(神戸大学)
C13-1011	地震・微動観測およびスペクトル解析に基づく山地形地盤増幅率の推定		藤並雄誠(法政大学)
C13-966	表層地盤の凍結が入力地震動に与える影響		佐藤京(寒地土木研究所)
C13-993	地盤全体系の強度と地震動の最大値を考慮した表層地盤増幅率の高精度化		坂井公俊(鉄道総合技術研究所)

10月18日(火)

9:30-10:45		C21 <サイト特性(2)>	座長:坂井公俊(鉄道総合技術研究所)
講演番号	講演題目		講演者
C21-916	サイト特性を考慮した津波避難困難区域の抽出—能登半島北方沖の想定地震による石川県輪島市船倉島を例として—		山内政輝(大阪大学)
C21-921	疑似点震源モデルに基づく1993年能登半島沖地震によって被災した市街地での地震動の推定		秦吉弥(大阪大学)
C21-917	常時微動計測を利用した南海トラフ巨大地震におけるJRきのくに線沿いで強震動の予測		植田裕也(大阪大学)
C21-918	同一地域メッシュ内での強震動の高密度予測—南海トラフ巨大地震における徳島県三好市街地を例として—		大川雄太郎(大阪大学)
C21-920	高密度臨時地震観測に基づく南海トラフ巨大地震における高知県南国市津波来襲予想地域での強震動の予測		湊文博(大阪大学)

11:00-12:15		C22 <RC構造>	座長:五十嵐晃(京都大学)
講演番号	講演題目		講演者
C22-892	改良版個別要素法を用いた無筋コンクリート橋脚の振動台実験の再現解析		好川浩輝(京都大学)
C22-946	主鉄筋の節の一部を高くすることによるRC柱の耐力劣化改善効果の検討		植村佳大(京都大学)
C22-1046	RC橋脚の経年劣化を考慮した1自由度系の変位とウェーブレット係数の増分に関する一考察		三浦輝之(大阪産業大学)
C22-1031	多数のRC橋梁・高架橋群の効率的なモデル化のための感度分析		松本拓(伊藤忠テクノソリューションズ)
C22-954	1柱1杭形式のラーメン高架橋の入力損失効果とその評価手法の提案		寶地雄大(鉄道総合技術研究所)

13:30-15:15		C23 <斜面の挙動>	座長:中村晋(日本大学)
講演番号	講演題目		講演者
C23-1036	堤体の地震応答を考慮に入れた道路盛土の地震時安全性簡易評価手法		古川愛子(京都大学)
C23-898	変形指標に基づく地震時における斜面の安定性評価の試み		中村晋(日本大学)
C23-941	個別要素法簡易モデルによる地震起因性斜面崩落土の堆積範囲評価法の提案		中瀬仁(東電設計)
C23-929	SPH法を用いた荒砥沢地すべりの三次元解析		岡本遼太(東京都建設局)
C23-976	地震時の斜面安定問題におけるスペクトル確率有限要素法の適用に関する基礎的研究		堀田渉(大成建設)
C23-1025	ネパール・カトマンズ盆地で発生したハイウェイ盛土部の地震による被害のメカニズム推定		志賀正崇(横浜国立大学)
C23-1051	LONG LASTING GEOTECHNICAL PROBLEMS TRIGGERED BY THE 2015 GORKHA EARTHQUAKE		富田ひかる(横浜国立大学)

第36回地震工学研究発表会プログラム D会場(第9会議室)

10月17日(月)

10:30-12:15		D11 <地盤物性>	座長:三上武子(前田建設工業)
講演番号		講演題目	講演者
D11-942		同等の供試体密度とせん断波速度を有する不攪乱試料と再構成試料の液状化強度特性	梅原由貴(東京大学)
D11-1042		初期繰返しせん断が豊浦砂のせん断剛性率の異方性と液状化特性に及ぼす影響	吳杰祐(東京大学)
D11-928		大ひずみ領域を考慮した繰返しせん断試験方法の提案	三上武子(前田建設工業)
D11-1010		地震動特性と地盤特性を考慮した地中せん断応力の低減係数rdの評価方法の検討	地蔵智樹(土木研究所)
D11-998		不飽和砂の浸潤・締固め特性と加振時破壊形態に関する実験的考察	藤森弘晃(山梨大学)
D11-953		不飽和砂質地盤の地震時沈下量推定におけるモデル化誤差	北爪貴史(東電設計)
D11-1035		含水状態の異なる不飽和盛土の模型振動台実験	小湊祐輝(鉄道総合技術研究所)

13:30-15:15		D12 <ライフライン防災>	座長:能島暢呂(岐阜大学)
講演番号		講演題目	講演者
D12-935		都市ガス供給システムにおける導管被害予測と供給停止判断への機械学習の応用	能島暢呂(岐阜大学)
D12-937		都市ガス供給システムにおける地震時供給停止判断の性能評価	森山達哉(岐阜大学)
D12-991		地震等が起因する車両火災による下水道管路施設の耐火性能に関する研究	常井友也(日本技術士会)
D12-1000		広域ライフラインを対象とした地震被害復旧シミュレーション手法	LE QUANG DUC(岐阜大学)
D12-1004		大規模災害を想定した食料シミュレーション-南海トラフ巨大地震を対象として-	吉田裕実子(金沢大学)
D12-1043		住民意識を考慮したソフト・ハード両面からの上下水道減災対策の最適化手法の提案	池本良子(金沢大学)

15:30-17:15		D13 <道路防災>	座長:酒井久和(法政大学)
講演番号		講演題目	講演者
D13-982		大規模地震を想定した橋梁の被災リスクの分析 ~横浜市の橋梁定期点検データを用いて~	南貴大(金沢大学)
D13-990		震災発生時の壁面落下物の危険性を考慮した避難に関する研究	清水真幸(東京電機大学)
D13-1012		オープンなデータによる道路の被災可能性分析手法の構築と緊急輸送道路網への適用	大澤脩司(金沢大学)
D13-1014		地震時斜面崩壊確率評価式に基づく道路ネットワーク途絶対策の試み	西田佳佑(法政大学)
D13-1027		平成23年東北地方太平洋沖地震による道路橋被害の統計分析	中尾吉宏(国土技術政策総合研究所)
D13-989		石積擁壁の耐震補強効果の検討のためのSPH-DEM連成解析法の開発	小野祐輔(鳥取大学)
D13-1028		住民の科学的・社会的好奇心を刺激する自発的減災活動の開発	森伸一郎(愛媛大学)

10月18日(火)

9:30-10:45		D21 <津波>	座長:奥村与志弘(京都大学)
講演番号		講演題目	講演者
D21-888		地震と越流津波の複合作用による防波堤の残留水平変位に関する研究	岡田克寛(港湾空港技術研究所)
D21-985		津波により陸上斜面上に形成される堆積砂分布に関する水理実験	原田賢治(静岡大学)
D21-987		津波対策計画策定のための人的被害評価手法 -横須賀市におけるケーススタディー-	嶋原良典(防衛大学校)
D21-977		地震津波避難シミュレーションを用いた最適避難経路に関する研究 -輪島市臨港地域を対象とした事例研究-	小坂陽介(金沢大学)
D21-910		津波ハザード情報の利活用委員会の活動報告	大角恒雄(防災科学技術研究所)

11:00-12:15		D22 <International Session>	座長:飛田哲男(関西大学)
講演番号		講演題目	講演者
D22-905		LIQUEFACTION POTENTIAL IN CHIANG RAI PROVINCE, NORTHERN THAILAND DUE TO 6.8 MW EARTHQUAKE ON MARCH 24, 2011	Lindung Zalbuin Mase (Chulalongkorn University)
D22-912		PULL-UP RESISTANCE OF BURIED PIPES OF DIFFERENT CROSS SECTIONS	Tetsuo TOBITA (Kansai University)
D22-967		Shake Table Tests on Mitigation of Liquefaction Lateral Spreading by Using Gravel and Geosynthetics	Hendra Setiawan (Kanazawa University)
D22-1008		CONSISTENT MASS-SPRING MODEL FOR SEISMIC RESPONSE ANALYSIS CONSIDERING SOIL-STRUCTURE INTERACTION	M. R. RIAZ (University of Tokyo)
D22-1048		Application of Continuumization for Predicting Dynamic Properties of Brick Mortar Systems	Sumet SUPPRASERT (University of Tokyo)

13:30-15:15		D23 <地震後の対応技術>	座長:鈴木崇伸(東洋大学)
講演番号		講演題目	講演者
D23-1005		災害時におけるクルーズ客船への避難実績に関する基礎的分析	松田耕司(金沢大学)
D23-965		大型クルーズ客船の災害時活用に関する一考察	大西遼(金沢大学)
D23-948		震後土地区画整理事業の復興形態に影響を与える地形的要因	水上昌信(神戸大学)
D23-1003		地震発生後を想定した大規模土石流災害時における住民の避難行動分析~平成の嵩崩れを対象として~	吉本寛之(金沢大学)
D23-1040		地震発生時の居場所と住民の津波避難開始行動の関係 ~東日本大震災時における南三陸町志津川地区の住民の事例から~	土肥裕史(京都大学)
D23-1009		国保データベースを用いた災害時要援護者の疾患を考慮した避難所の適正配分に関する分析	玉森祐矢(金沢大学)
D23-1016		大規模地震を想定した災害時要援護者の実態に関する考察-鳩山町の国保データベースを活用して-	森崎裕磨(金沢大学)